

北陸大学 未来創造学部 学びのポイント!

国際教養学科では以下の3つのコースを設置し、①実践的な英語・中国語を中心とするコミュニケーション能力、②地域社会・文化の理解、③グローバルな視野と異文化理解を通して、地域に根を張り、世界に伸びていく人材を育成します。

国際教養学科3つのコース

■文化・観光コース ■英語・中国語コース ■国際関係コース

観光立国を支える人材になる 文化・観光コース

城下町の町並みを残す金沢の地域性を活かし、大学から「まち」に学びの場を広げ、伝統文化や芸術、まちづくりを学びます。また観光・文化政策の立案能力の養成や、観光系の資格取得を通じて、地元の観光を盛り上げ、地域経済を元気にできる実践力を養います。こうした教育の成果として、平成26年からは「兼六園観光スポットガイド」を開始し、学生たちが日本人観光客はもちろん、外国人にも英語や中国語で兼六園の見どころを案内する実践学習を行っています。

OPEN CAMPUS 2014

8/8・9(金・土)10:00~14:30

太陽が丘キャンパス(金沢市太陽が丘1-1)
—— 大学HPから参加受付中! ——

8/8(金) ○文化資源を活用した観光まちづくり
○契約の大切さを知る
○公務員の仕事とは
8/9(土) ○アクティブラーニング「貿易ゲーム」

富山駅・富山駅・高岡駅から
無料シャトルバス運行

富山駅(北口) 7:45出発
高岡駅(瑞龍寺口) 8:45出発
金沢駅(西口) 9:10出発



未来創造学部
国際教養学科
国際マネジメント学科

観光学を通じて、 金沢の文化を盛り上げたい。

異文化や観光に興味があり、留学プログラムがあり、豊富な北陸大学に進学した西永杏子さん。3年次からは観光・まちづくりがテーマの長谷川孝徳教授のゼミに所属し、兼六園のボランティアガイドも務めている。これは、長谷川教授の指導を受け、スポットごとにガイドを務める学生が立ち、訪れた観光客に見どころの紹介などを行うもの。特別名勝の名を汚さぬよう、全員スースを着用し、西永さんは「日本武尊（やまとたけるのみこと）の像」のガイドを担当した。

「北陸新幹線金沢開業が近づく中、学生が兼六園をもっと盛り上げていく提案も行なうことができました」と振り返る。外国人観光客には、大学で学んだ英語に加えコミュニケーションが必要になる



ボランティアガイドを務める様子はテレビでも放映された。

場面もあつたが、持ち前の明るさと積極性、おもてなしの心で精一杯ガイドを務めた。さまざまな人と出会い、文化を学び、伝え、相互理解を深めていくことに関心を持つ西永さん。その学生生活は密度が濃い。「考えているだけでは何も前に進まない。だから、やりたいと思ったことはできることから始めるよう心がけています」と笑顔で話す。この夏は、テレビ局の学生インターンに挑戦し、活動の幅を広げていく。



HUMAN Challenge Vol.6

未来創造学部
国際教養学科
3年次生

にしなが きょうこ
西永 杏子さん
金沢伏見高等学校出身